

数理データサイエンス・AI 教育プログラム「データサイエンス概論」

自己点検報告（2023）

1.プログラムの目的・修了要件

【目的】

今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AI を、日常生活や仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けることを目的として令和 4 年度に開設した。

【修了要件】

「データサイエンス概論」（2 単位）の単位を習得すること。

【授業概要】

この授業では、数理・データサイエンス・AI を実践するにあたって必要となる知識の概論および理論の基礎を学習する。身近なトピックを中心に切りあげ、グループワークや演習を通して、数理・データサイエンス・AI の基礎と、その応用事例、社会との関わりについて学習する。

2.プログラムの現状評価

・本年度におけるデータサイエンス概論の実施状況について意見交換を行い、以下のような意見が出され、情報を共有するとともに、改善していく。

（1）昨年度、対面で実施していたが授業評価アンケート等からオンデマンドの要望があり、今年度はオンデマンドで実施しているが各学部学科ともに大きな問題は無く実施できている。

（2）エクセルの課題を実施する部分から、学生の進度に差がでている。

（3）進捗状況のよくない学生が数名いるため、ポータルサイトでの案内等を充実させ、継続して学習意欲を維持していく必要がある。

3.今後の課題等

以下の内容を確認し、プログラムの運営を改善していくことを確認した。

（1）次年度（令和 6 年度）もオンデマンドで実施する。

（2）当初は非常勤講師に依頼する想定であったが、次年度も外部コンテンツを活用できるため、今年度と同様に各学部学科の専任教員が分担して担当する。

以上、共通教務委員会コアチームにおいて議論し、今後のプログラム運営において改善していくことを確認した。